

第2回 西東京市農業振興計画策定委員会 議事録

日時：平成14年7月5日（金）午後2時～5時

場所：西東京市役所田無庁舎 503会議室

出席者：[委員] 深澤 司（委員長）、小田切猪佐夫（副委員長）、荒木俊光、原島義夫、中谷行雄、
鵜野文夫、蓮見伸一、鈴木一成、桜井正行、藤澤龍造、浜 昱子、吉川秀則
[事務局] 長谷川課長、尾林主幹、松川課長補佐、東原係長、坂本主査
若山、村上（地域計画研究所）

委員長挨拶

事務局紹介

- ・鴨下主幹にかわり、尾林主幹が就任。

議事録の修正確認

- ・P3の「資料2により説明…」を「資料6により説明…」に修正。
- ・P4の原島委員の発言を桜井委員に修正。

アンケートの実施スケジュールについて（資料により説明：地域計画研究所）

《主な意見》

発言者	発言内容
原島 東原	無作為抽出方法とはどのような方法なのか。 町別に年齢別の割合を考えて抽出する。

市民意識調査のアンケート内容について（市民アンケートにより説明：地域計画研究所）

《主な意見》

発言者	発言内容
< P 2 > 委員長	問3の4, 5の語尾は「役立つ」としたほうがよい。問4の選択数は3つでは多いので、2つでよい。
原島 委員長 桜井	問3の8は農薬に対する考えがマイナスであると思う。他に表現はないだろうか。 農薬はある程度使わないと作れないことがある。 問4の7は荒れている土地があっても、変えられないので選択肢に加えないほうがいいと思う。
浜 鶴野 委員長	利用したい人がいるかどうか、聞く意味はある。 問3の選択肢に「避難場所として役立つ」という項目を入れてはどうか。 たとえ、面積が小さくても、農地は避難場所として有効に役立つ。
< P 3 > 原島 委員長 藤澤	直売所は「市内」だけではなく、くわしく聞いたらどうか。 直売所自体の利用をしているのかを聞くと考えたほうがよい。 問9はこれだけだと「道の駅」なども入ってしまうのではないか。「近く」か「市内」という言葉を入れたほうがよい。
浜 原島 事務局 副委員長 鶴野 桜井 荒木 浜 蓮見 副委員長 委員長	問8の4の項目は意味をとらえにくいのではないか。 旧田無でも地場野菜を給食に使っているのか。 使っている。 問7に「地場野菜マークをつける」という選択肢を加えた方がいいのではないか。 いいアイデアだと思う。 問8 - 2は減農薬・減化学肥料とした方がいいのではないか。 スーパーなどでは「減」農薬という表現を使っている。 印象はかわらないので、どちらでもいいように思える。 規定があるか、ないかの違いである。 市民でも、その違いがわかる人もいるだろう。 正しく「減」農薬とする。問5の設問は「あなたは農産物をどこで...」とした方がよい。問7は1つでなく2つ選ぶ方がよい。
荒木 委員長 事務局 鶴野 吉川 委員長	問5の設問に「日頃」といれた方がよい。 問8 - 5の意味あいがわかりにくい。学校給食に農家とのアプローチはあるのか。 学校農園と農家に関わる例はある。 農業体験で得た農産物を給食に使用する場合もある。
浜	問8 - 4を項目の最後にすべきだと思う。 問8 - 4は「いろいろな野菜をつかってほしい」という部分に賛同して をつけてしまうだろう。 地場野菜の何のこだわりなのかわからない。

<p>事務局 若山 桜井 事務局 委員長 浜 委員長 < P 4 ></p>	<p>文章をすっきりさせた方がよい。 「地場野菜にこだわらない」として、選択肢の最後におくこととする。 全校で地場野菜はどのくらい使っているのか。 保谷地区はほとんどの学校で使われている。田無地区はまだ把握していない。 保谷地区と田無地区で設問を分ける方法もある。 直売所を利用してない人の要望に対する設問をいれた方がいいのではないか。 問9に「今後利用したい」という選択肢をいれた方がよい。</p>
<p>浜 委員長 浜</p>	<p>問13に若い年齢層も考慮した方がよい。「老後」のイメージが強い。 「老後」は取った方がよい。 家族での農作業のイメージもいれていけばよい。「子どもとのふれあい」「家族のふれあい」などを入れるべきだと思う。</p>
<p>委員長 原島 委員長 若山 浜</p>	<p>問13-1の「自家用野菜ぐらい」の「ぐらい」はいらないだろう。 問13の選択肢は野菜だけなので、ガーデニングなども頭に入れるべきでは。 ガーデニングだと農家との関わりがあるのだろうか。 西東京市の植木と市民との関わりがあれば入れてもいいと思う。 市民のなかで、公園に植える花を育てている人々もいるだろう。例えば、農地を貸してもらったりして、農家との関わりを持てるのでは。</p>
<p>吉川 委員長 浜</p>	<p>「花」という項目をはっきり入れたほうがよいと思う。 全体の流れを見て、こちらに任せてもらいたい。 市民農園と家族農園の違いはどこにあるのか。</p>
<p>事務局 副委員長 事務局 副委員長</p>	<p>農家が経営しているか、市が経営しているかの違いで、内容の違いはない。 市民農園や家庭農園は倍率が高くて、利用したくても利用できない場合もある。 倍率は3倍くらいである。</p>
<p>副委員長 鵜野 委員長 浜</p>	<p>問14に「知らなかった」という選択肢をいれた方がよい。 問12の生ゴミは、提供されても簡単には受け入れられない。 市民の意識はどうかを聞く設問と考えればよい。 生ゴミを堆肥化できる場所や施設を提供してくれるならいい、という人が多いと思う。 自分で堆肥化するのは難しい。</p>
<p>副委員長</p>	<p>東村山は団地ごとのコンポストがある。また、企業は住宅周辺のプランテーションに使用している。老人ホームにもある。</p>
<p>鵜野 委員長 桜井</p>	<p>コンポストは簡単に使えない。ちゃんとした意識があるのかどうか問題だ。 コンポストなどの利用の意識があるかどうかを調べなくてはならない。 生ゴミ堆肥のことはちゃんと知ってほしい。東村山で生ゴミ堆肥の受け入れができる程度の分別をしているのは、老人ホームのみである。分別する意識があるのか、きちっと聞きたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>ほんとうに責任をもって、直売所を中心として循環ができるかどうか。山形県長井市のレインボープランでも、フォーク、ナイフが入っていることもある。大きくなればむずかしくなる。</p>
<p>鈴木 委員長 < P 5 ></p>	<p>自分の家で使う人はきちんと分別をする。 農家が生ゴミをそのままの状態で受けるのは無理だろう。</p>
<p>吉川</p>	<p>農家の交流についての質問である問17、18は大切だと思う。質問をもっと多くしてもいいのでは。問18は2つまででなく、いくつでも選べるようにするのはどうか。西東京市の広報でのPRを考えたのだが。</p>
<p>委員長 浜</p>	<p>それは、問18-3に入れられるだろう。 問18の選択肢は全て必要だと思う。全部やらなければ意味がないのでは。選ぶ意味があるのだろうか。</p>
<p>若山</p>	<p>たしかに全て重要である。ここでは、順序をつける目的で2つまでとしている。ウェイトづけを見るためである。いくつでもとすれば、全部つけてしまうこともある。</p>
<p>吉川 委員長 副委員長</p>	<p>理解できた。 選べる数が多いほど、選ぶことが難しくなる。 問18-6の選択肢の意味はなにか。</p>

若山 < P 6 > 委員長	農地保全意向のウェイトが高いかどうか、調べるためである。
若山 委員長 浜 委員長 原島 委員長	F 4 と F 6 は必要だろうか？集計上使わなければ、無くした方が良いのでは。あまり細かいところまで答えたくないという意向もある。 クロス集計するときに使うかどうかはたしかにわからない。 年齢層によって比較して考えられるのではないか。 この質問を聞かれてもあまり気にならないと思う。 F 4 と F 6 はこのままにする。市民意識調査の全体のことで気になる点はないか。 市民意識調査で農家の方が答える可能性もあるのか。 農家の人も市民なので、可能性はあるだろう。

農家意向調査の内容について（農家アンケートにより地域計画研究所が説明）

《主な意見》

発言者	主な意見
< P 2 > 鵜野 若山 委員長	このアンケートは農業経営者に聞くのか。 第2回委員会資料のP3に書いてあるが、今のところ農業経営者に記入してもらおう予定である。 経営者か、若い世代かによって答えが全然違ってくるので、これから農業をやってもらう人達にも書いてもらったほうが良いのではないか。 これから農業をやっていく若い世代や女性に個別に集まってもらい、調査する予定はある。
桜井 委員長 桜井 若山 委員長 副委員長 < P 3 > 副委員長 委員長 原島 委員長 < P 4 > 委員長	どういう方向性にするのか、何を聞きたいかによって変わると思う。 農業振興計画策定のためのアンケートなので、後継者も関わる。 私の家では、経営者は父だが、実際の作業は主に自分がやっている。 現状を知るには、実際の作業を主にしている人に聞きたい。 資料のP3、「記入のお願い」に「主体的に農業をしている方」と入れるべき。 そうすると、問6の「あなた」はいらなくなる。
委員長 < P 3 > 副委員長 委員長 原島 委員長 < P 4 > 委員長	問9は田無地区の植木をしている人にとって、答えにくいと思う。 「造園利用」という選択肢をいれたほうがよい。 問8の3番目くらいに「植木・造園」を入れてほしい。それと問9の契約販売のとらえ方が難しいと思う。 それは個人に任せることとする。農家側のとらえ方だから。
委員長 < P 4 > 委員長	問12では、都外にある農地も把握する必要がある。都内と都外、さらに都内は市内と市外で分けて聞く。問15で、処分した面積も聞けないだろうか。面積も把握したい。書いてくれるかどうかは別にして、欄を設けたらどうか。
桜井 若山 委員長 < P 5 > < P 6 > 原島 吉川	記入すれば、その情報が流れないかどうか心配がある。 調査票は返送するときに、封をするから大丈夫だ。 それでは、欄を設けることにする。 (とくになし)
桜井 委員長 桜井	問22の選択肢に、犬・猫と別にして鳥獣の被害についても、入れて欲しい。 問23は重要な設問である。技術革新の取り入れや都市農業ならではの農産物の開発なども入れたほうがよい。問23-5の「手間のかからない」という表現は変な感じを受ける。 農業は手間がかかるものだ。 「省力型」農業への転向、としよう。 いいものを作ろうとする人は、気を遣って、手間もかけている。省力型農業をするのは、

<p>< P 7 > 吉川 委員長</p> <p>若山 委員長 吉川 < P 8 > 委員長</p> <p>副委員長</p> <p>委員長</p> <p>事務局 委員長 各委員</p>	<p>楽をするためだけでなく、高齢化も関係ある。</p> <p>問 24 は答えたくない質問ではないだろうか。所得を聞いてどうするのか。実際より少なく答える人もいるだろう。けれども他の方法では調査できないことなので、仕方ない。</p> <p>所得目標を設定するためにも、基礎として所得をおさえておきたい。「不動産収入」とあるが、(1) は「農業所得」なので、「不動産所得」と統一しよう。</p> <p>問 26 はインターネットなどパソコンを活用してるかどうか、聞く必要があると思う。</p> <p>問 30 には、植木の剪定枝を選択枝に入れるのはどうか。チップの販売など、選択枝も考慮したほうがよいだろう。</p> <p>東京都は農業の担い手をどうするかを検討をしている。問 19 でヘルパーや受託について聞いておきたいのと、問 33 で農業の担い手開拓など入れてもらいたい。</p> <p>問 19 でヘルパーについて聞き、問 33 で農作業の受託組織について聞けばいいのではないか。</p> <p>調査票について、この他に気がついた点、意見等がある場合は、7月10日までに事務局に連絡いただきたい。</p> <p>本日の会議で出た意見と7月10日までに寄せられた意見をもとに調査票を修正し、確定することについて、委員長と事務局に一任いただけるか。</p> <p>異議なし。</p>
--	---

ニュースの発行について（ニュース第1号により地域計画研究所が説明）

- ・ニュースにもっと絵を入れたらどうか（浜）